

A vertical rectangular image on the left side of the blue banner showing a sunset over the ocean. The sky is filled with soft, colorful clouds in shades of orange, yellow, and blue, reflecting on the calm water below.

## AIG Companies in Japan 2018



# ACTIVE CARE

この国に、新しい保険の夜明けがやってくる。

それは、先回りする新しい保険の考え方。まさかの時だけでなく、まさかが起こらないように、世界中の知見と最先端テクノロジーを駆使して、あなたをリスクから守っていく。

私たちAIGグループは、日本の保険の常識を変える新しい提供価値をもたらすために、  
グループ統一の事業戦略コンセプトとして「ACTIVE CARE」を展開します。

「ACTIVE CARE」はAIGが世界中で蓄積してきた知見や、リスクの認識および軽減につながる最新のテクノロジーを活用し、  
日常に潜むリスクを的確に把握しながら、そのリスクに備えるためのサポートをご提供するものです。

起きてしまったできごとへの経済的な補償だけでなく、そもそも事故が起こらないようにリスクを最小化する予防的サービスを、  
目に見える分かりやすい形で積極的にご提供し、保険をより身近なものへと変えていくことを目指します。

## ACTIVE CAREを構成する三つの要素

1

すべてがシンプルで、  
分かりやすい。

どんな新しいサービスや有益な情報も、うまく伝えられなければ意味がありません。私たちは、お客さまの立場に立ち、お客さまそれぞれに合わせたサービスを提供していきます。

2

リスク情報を、  
事前に。

お客さまを深く理解しているからこそ、お客さまの気づかないリスクにまで気づくことができます。そして、事故や損害を事前に防ぐ、情報やアドバイスを提供していきます。

3

AIGならではの  
先進性。

私たちAIGが、世界中で蓄積してきた最先端の知見やテクノロジー、そして、長年日本で培った洞察力でお客さまにとっての保険の価値を高めていきます。

# 「 AIG in Japan 」

## 日本のお客さまのために－「ACTIVE CARE」という新しい挑戦

日本におけるAIGの事業は、AIUが1946年に戦後初の外資系損害保険会社として営業を開始したことに始まります。以来70年以上にわたる長い歴史をお客さまと共に歩み、AIGの世界的な事業展開において日本は特に重要な位置を占めるまでとなりました。

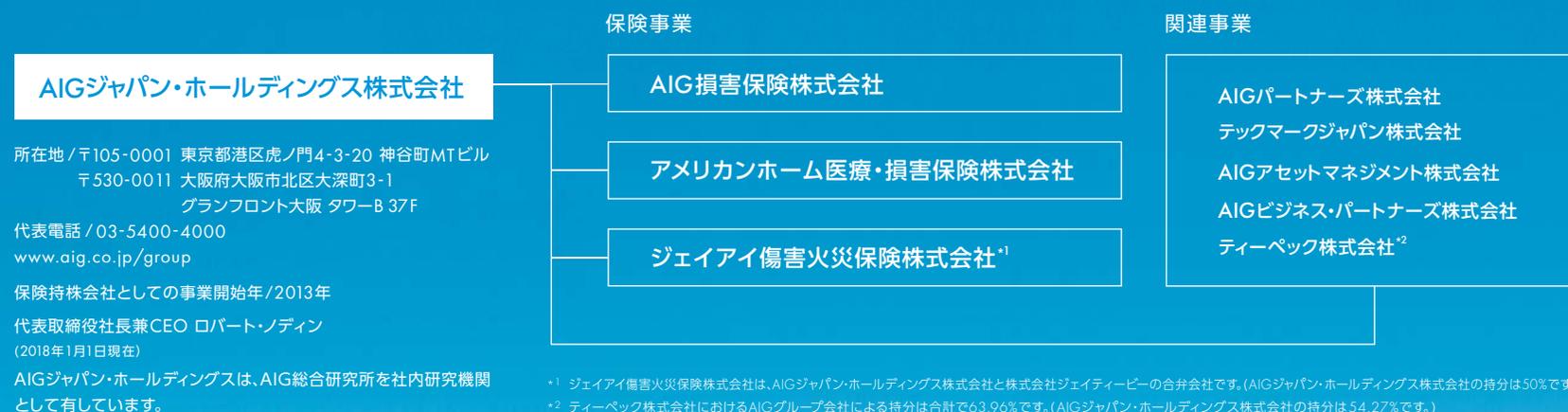
そして今、私たちは「ACTIVE CARE」という、新しい挑戦を始めます。万一の事態に際しての補償だけでなく、日々の生活の中でのまさかを未然に防ぐためのサポートを提供し、お客さまにとっての保険の価値を最大限に拡大することが、今こそ必要だと考えるからです。私たちAIGは、確かな実績とグローバルネットワークによるシナジーを最大限に活かしながら、日本のお客さまに対する深い理解に基づく的確なソリューションを提供し続けてまいります。

## 日本におけるAIGグループ会社の沿革

- |       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| 1918年 | 富士火災海上保険株式会社の前身である、日本簡易火災保険株式会社設立                          | 2010年 | 富士火災を、AIGの連結対象子会社化   |
| 1946年 | AIUが、外資系損害保険会社としては戦後初めて、日本で営業を開始（当時はAIUコーポレーション(AIUC)日本支店） | 2011年 | 富士火災を、AIGの100%グループ会社化  |
| 1949年 | 日本簡易火災保険株式会社が、富士火災海上保険株式会社に社名を変更                           | 2013年 | AIGジャパン・ホールディングス株式会社、保険持株会社として事業開始<br>AIUが日本法人化し、AIU損害保険株式会社に社名を変更 |
| 1960年 | アメリカンホーム、日本での損害保険事業免許を取得                                   | 2014年 | アメリカンホームが日本法人化し、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社に社名を変更                          |
| 1982年 | アメリカンホーム、日本で初めて傷害保険の通信販売の認可を取得                             | 2018年 | AIUと富士火災が合併、AIG損害保険株式会社が誕生   |
| 1989年 | ジェイアイ傷害火災保険株式会社設立<br>(当時はジャパン・インターナショナル傷害火災保険)             |       |  |

## 日本のAIGグループの組織

日本では、AIG損害保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社が保険事業を展開するほか、様々なグループ会社に関連事業を通じて日本のお客さまをサポートしています。AIGジャパン・ホールディングス株式会社は、日本におけるAIGグループの保険持株会社として、AIGの日本事業を統括し、傘下保険会社および子会社の経営管理を行う役割を担います。





## We are AIG

100年近くの間、AIGは複雑なリスクに立ち向かってきました。私たちは、お客さまの未来のために、潜在的なリスクをとらえ、万一の事故を未然に防ぐことに世界中で力を尽くしています。リスクマネジメントにおける高度な専門性と強固な財務力によって世界80以上の国や地域のお客さまを支えてきたAIGは、お客さまのニーズにより深く応えるためになお進化しようとしています。

お客さまにとってもっと身近な存在として、更に速く、大きな価値を提供するために、私たちは、むだのない、より重点領域を明確にした、より収益性の高い組織を目指します。ものごとの価値が時には一日で失われるような、激しい変化の時代にあっても、リスクに関する私たちの深い知見が持つ意味は変わることがありません。その力で、お客さまの安心を守り、お客さまが未来をつかむための支えとなります。

### 世界におけるAIGの歩み

- 1919年 AIGの創業者、C・V・スターが、中国上海にアメリカン・アジアティク・アンダーライターズ(AAU)設立
- 1921年 C・V・スター、中国でアジア・ライフ・インシュアランス・カンパニーを設立
- 1926年 ニューヨークでアメリカン・インターナショナル・アンダーライターズ(AIU)開設、米国で最初のオフィスに
- 1930年代 アジアでの事業を拡大するとともに南米でも事業開始
- 1939年 AAUの本社を上海から米国に移転
- 1940年代 第二次世界大戦後、日本やドイツを含む新たなマーケットに進出、世界での事業展開へ
- 1946年 日本における事業を開始
- 1967年 AIG, Inc. を設立
- 1984年 AIG, Inc. がニューヨーク証券取引所に上場(1987年に東証上場)
- 2012年 全世界でリブランド、新AIGロゴを発表

AIGグループは、世界の保険業界のリーダーであり、80以上の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。

持株会社AIG, Inc. はニューヨークおよび東京の証券取引所に上場しています。

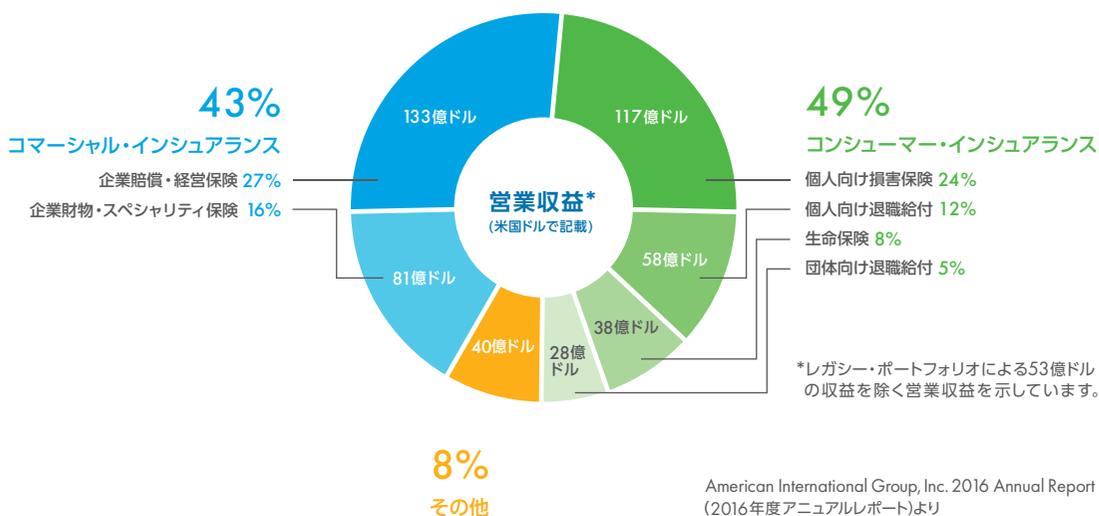
## AIGの業績の推移

American International Group, Inc. 2016 Annual Report  
(2016年度アニュアルレポート)より

	2016年	2015年	2014年
総収入	524億ドル	583億ドル	644億ドル
純利益(損失)	(8億ドル)	22億ドル	75億ドル
総資産	4,983億ドル	4,968億ドル	5,155億ドル
株主資本	763億ドル	897億ドル	1,069億ドル

(米ドルで記載)

## AIGにおける中核事業の営業収益



AIGのグローバルの損害保険事業における元受収入保険料のうち、日本での引受は16%を占めています。

American International Group, Inc. 2016 Annual Report  
(2016年度アニュアルレポート)より



American International Group, Inc.  
www.aig.com

所在地/175 Water Street, New York, NY 10038

上場証券取引所/ニューヨーク証券取引所、東京証券取引所

社長 兼 CEO/ブライアン・デュパロウ

## 世界最大規模のグローバルネットワーク

世界で約55,000人の社員が築く「お客さまにとって最も価値のある保険会社」であるために、各分野で最大のパフォーマンスを追求し続けています。

## 強固かつ優れた財務基盤

763億ドルの株主資本<sup>1</sup>、持株会社AIG, Inc.の流動資金129億ドル<sup>1</sup>を確保しています。

## 効果的な資本管理

AIGでは、世界中の保険会社で最大規模<sup>2</sup>の株主資本を、強固なリスク管理体制の下、効果的に管理しています。

## 世界で選ばれる保険会社

AIGは、「Fortune Global 500」(全世界の大企業番付)のうち87%<sup>3</sup>の企業、「Forbes 2000」(世界の有力企業2000社ランキング)の83%<sup>3</sup>の企業と取引を行っています。

## 幅広い事業構成

世界の多岐にわたるマーケットで存在感を示しています。

<sup>1</sup> 2016年12月31日現在

<sup>2</sup> 2016年6月30日時点(特定の米国外保険会社の財務情報について確認可能であった直近の日付)

<sup>3</sup> 2016年11月1日現在

# AIG Companies in Japan 日本の主なAIGグループ会社

## 保険事業

### AIG損害保険株式会社

〒105-8602  
東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル  
代表電話:03-6848-8500  
http://www.aig.co.jp/sonpo

英文社名	AIG General Insurance Company, Ltd.
代表取締役社長 兼 CEO	ケネス・ライリー
設立年	2012年
元受正味保険料*1(2016年度)	5,319億円
総資産(2016年度)	1兆71億円
従業員数	6,388名

\*日本における営業開始年:1946年(AIUコーポレーション(AIUC)日本支店として)  
\*なお、AIG損害保険株式会社は、1946年創業のAIU損害保険株式会社と  
1918年創業の富士火災海上保険株式会社が2018年1月1日付で合併して誕生しました。  
\*元受正味保険料、総資産、従業員数は2017年3月末時点数値の単純合算です。

### ジェイアイ傷害火災保険株式会社

〒104-6016  
東京都中央区晴海1-8-10  
晴海アイランド トリトンスクエア  
オフィスタワーX 16階  
代表電話:03-6634-4000  
http://www.jihoken.co.jp

英文社名	Jl Accident & Fire Insurance Co., Ltd.
代表取締役社長	新保 稔
代表取締役副社長	渡辺 治子
設立年	1989年
元受正味保険料*1(2016年度)	153億円
総資産(2016年度)	284億円
従業員数*2	250名

\* AIGジャパン・ホールディングス株式会社と株式会社ジェイティービーの合併会社  
(AIGジャパン・ホールディングス株式会社の持分50%)

### アメリカンホーム医療・損害保険株式会社

〒105-8403  
東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル  
代表電話:03-5401-8000  
http://www.americanhome.co.jp

英文社名	American Home Assurance Company, Ltd.
代表取締役社長 兼 CEO	北村 浩嘉
設立年	2013年*
元受正味保険料*1(2016年度)	739億円
総資産(2016年度)	1,411億円
従業員数*2	750名

\*日本における営業開始年:1960年(アメリカンホーム保険会社日本支店として)

\*1元受正味保険料=元受保険料-(元受解約返戻金+元受その他返戻金)。積立保険の収入積立保険料部分を含みます。\*2従業員数:2017年3月末現在

## 関連事業

### AIGパートナーズ株式会社

AIGジャパン・ホールディングス傘下のカンパニーエージェントとして保険商品・サービスを提供

〒163-0813 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル13階 代表電話:03-6894-9050 http://www.f-is.co.jp	英文社名 AIG Partners Co., Ltd.
	代表取締役社長 金子 昌之
	設立年 1961年

### テックマークジャパン株式会社

メーカー、販売店、不動産管理会社、リース会社などに対し、延長保証(ワランティ)プログラムを提供

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト18階 代表電話:03-5619-2200 http://www.techmark.co.jp	英文社名 Techmark Japan KK
	代表取締役社長 将積 保博
	設立年 2008年*

\*日本における営業開始年:1994年(前身:テックマーク・サービスズ・リミテッド日本支店)

### AIGテクノロジーズ株式会社

日本に所在するAIGグループ会社に対して、IT関連サービスを提供

〒130-8560 東京都墨田区錦糸1-2-4 アルカウエスト	英文社名 AIG Technologies KK
	代表取締役社長 アレックス・サブスタンレー
	設立年 1986年

### AIGアセットマネジメント株式会社

グループ保険会社の委託を受け、主に国内外の債券運用を行う

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル	英文社名 AIG Asset Management (Japan) Co. KK
	代表取締役社長 原 仁
	設立年 2010年

### AIGビジネス・パートナーズ株式会社

日本に所在するAIGグループ会社に対して、シェアード・サービスならびに各種コンサルティングサービスを提供

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル http://www.aig.co.jp/abp	英文社名 AIG Business Partners KK
	代表取締役社長 則生 直人
	設立年 2010年

### ティーペック株式会社

24時間・年中無休体制の電話健康相談の専門会社として、健康・医療相談、メンタルヘルスなどのサービスを提供

〒110-0005 東京都台東区上野5-6-10 代表電話:03-3839-1100 http://www.t-pec.co.jp	英文社名 T-PEC CORPORATION
	代表取締役社長 砂原 健市
	設立年 1989年

AIGジャパンは、多様性を尊重する企業文化に基づき、より安全でより良い未来を創造するための様々な取組みを行っています。



## ダイバーシティ&インクルージョン



AIGでは、性別、国籍、性的指向、家族構成、障がいのあるなしなどの違いから生まれる様々な経験を多様性として受け入れ、尊重しながら、最大限に活かす「ダイバーシティ&インクルージョン(多様性とその受容)」の推進に取り組んでいます。これは、社員にとって働きやすい環境を整えるだけでなく、多様な視点からお客さまを深く理解し、リスクの低減を通してお客さまや社会に貢献する企業として、「ACTIVE CARE」を実現することにもつながっています。

- 経営陣を中心メンバーとするダイバーシティ・カウンシルを設置、社員によるワーキンググループと共にダイバーシティ&インクルージョン推進をリード
- 社員の自発的な情報交換やネットワーキング活動<sup>\*1</sup>を支援
- 女性活躍に向けた積極的な人材育成施策を支援
- イクボス企業同盟(NPO法人ファザーリング・ジャパン設立)に加盟、すべての管理職にセミナーを実施
- LGBT<sup>\*2</sup>理解のための様々な取組みを実施し、日本における企業・団体のLGBTに関する取組みを評価する「PRIDE指標」(任意団体work with Prideにより選出)で、最高位の「ゴールド」を獲得(2016年度、2017年度)
- 世界自閉症啓発デーや発達障害啓発週間に合わせ、社内啓発キャンペーンや勉強会を全国で実施
- 「ディスアビリティ(障がい)・ワーキング・グループ」による、障がいのある方への理解促進活動が評価され、「第2回企業ボランティア・アワード」(東京ボランティア・市民活動センター主催)を受賞
- グループ会社のサポート業務等を行う特例子会社AIGハーモニー株式会社(2017年5月設立)において障がい者雇用の促進を図るなど、多様な人材活躍の場の拡大に向けた取組みを強化

<sup>\*1</sup> 現在、従業員ネットワーキンググループとして、「Working Families」[Women & Allies][Young Professionals][LGBT & Allies][Language and Cultural Exchange]の五つのグループが活発に活動を行っています。

<sup>\*2</sup> LGBT:レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称の一つ



## 社会貢献活動



AIGは、良き企業市民として、事業を展開する地域社会の発展に寄与するとともに、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底と、責任ある倫理的なビジネス慣行の遵守に専心しています。また、セーフティ(道路の安全、病気の予防、健康問題などを含む)、セキュリティ(地域の安定性を促進する経済に関する教育などを含む)、災害救援(災害対策と被災地のインフラの復興を含む)の三つのテーマに沿った社会貢献活動に世界各地で取り組むとともに、従業員による様々なボランティア活動を積極的にサポートしています。

- 災害からいのちを守る森を作る「鎮守の森のプロジェクト」にグループ社員がボランティア参加
- 日米双方の高校生を米国と日本に招待する「AIG高校生国際交流プログラム」を30年以上にわたり実施、グループ社員がホストファミリーとして協力
- 病気と闘う子どもたちとご家族をキッズニア東京に招待、グループ社員がボランティア参加
- 障がいのある子どもたちに特別な体験をプレゼントする「グロリアステイ」\*協賛(富山)、市民劇「飛べ!琉球鳥人」のサポート(沖縄)など、地域貢献活動を展開
- 平成28年熊本地震被災地への寄付および社員ボランティアツアーを実施、またラグビーの試合へ子どもたちを招待
- 未就学児と保護者のための交通安全教育を行う「Family Road Safety」イベントを開催
- 「世界自閉症啓発デー」をサポートし、全国の啓発活動にグループ社員がボランティア参加
- 東京・大阪・福岡で開催されたLGBT支援のイベント(レインボープライド)に協賛し、社員がブース運営・パレードに参加

\*グロリアステイ：児童発達支援センターの子どもたちとご家族を、動物について学び触れあい絵で表現する体験教室「グロリアステイ」に招待、子どもたちの描いた絵はガラスパネルとして恒久展示されています。



## スポンサーシップ



AIGは、世界的に有名なラグビーニュージーランド代表のオールブラックスのスポンサーを務めるなど、多様性の尊重、チームワーク、成長といったAIGの価値観と共通する要素を持つスポーツのサポートや、そのほかのスポンサーシップを通じて、子どもたちの健全な育成や、より安全な世界の実現に貢献しています。オールブラックスの選手たちの出演で「ACTIVE CARE」のコンセプトを表したスペシャルムービー「#Tackle The Risk」を日本で制作・公開したほか、ラグビーや野球関連のイベントにおいてもケガの予防をはじめとする安全への意識向上につながる活動を行い、まさかを未然に防ぐサポートを提供する機会の一つとしています。

- AIGとして、ラグビーニュージーランド代表(オールブラックス)のスポンサーを務める
- 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会と協働し、グラスルーツパートナーとして日本のラグビー普及活動を支援  
小学生を対象としたタグラグビー\*教室や小学校へのタグラグビーキットの贈呈を実施
- 神戸製鋼コベルコスティーラーズのオフィシャルスポンサーを務める
- MLBカップに特別協賛し、リトルリーグの発展に寄与
- キッズニア東京の消防署パビリオンのオフィシャルスポンサーを務める

\*タグラグビー：タックルかわりに相手選手が腰に付けた帯状のタグを取る、身体の接触プレーのないラグビーです。体の大きさに関係なく、男女が一緒に参加できることなどから、文部科学省の「小学校学習指導要領解説書」に例示され、小学校の体育授業で取り入れられています。

